

# 小田原

広

報

まちづくり情報誌



●特集

# 潮騒と緑で

# 遊ぼう!!

この夏、新しい自分が見えてくる!







## ●特集

# 潮騒と緑で遊ぼう!!

相模湾の黒潮が勇ましく岩礁にたたき寄せ、キラキラと波しぶきが輝きます。柑橘系の果物が、枝もたわわに実り、木々が青々と生い茂る山は、数々の自然の恵みを与えてくれます。潮騒と太陽と緑のシャワーを浴びて新しい自分を見つけに行こう。

鹿島踊り 30周年

7月14日(土) 20:00～ 宵宮

7月15日(日) 14:30～ 本宮

## 鹿島踊り保存会

県指定文化財となり30年!  
衣裳も新調しました。



宮川俊一さん

根府川・寺山神社に伝わる鹿島踊りは、石匠らが石材の海上輸送の安全を祈願して踊ったものが伝えられました。

「この踊りは地域あげての神事でありお祭りです。昔は青年団の若衆組が集会所に合宿して、先輩から教えられました。そこは踊りはもちろん、読み書き・そろばんなどを教えていて、まるで寺子屋でしたね。上下関係も厳しかったそうですよ。ここで、きちんと社会のルールを教えら

れ、しごかれるもんだから、この地域から軍隊に行っても音を上げる者は、だれもいなかったとよく聞かされました」と宮川さんは笑う。

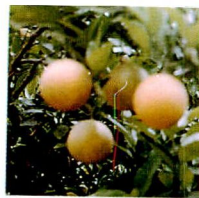
「昔は農家の長男が中心に、祭りを運営していました。今や後継者が少なく、苦勞する場面もあります。しかし今年は、文化財に指定されて30周年の記念の年を迎えます。7月15日に向けて地域の結束力は高まり、盛り上がっていますよ」と目を輝かせます。



市文化財保護課  
☎33-1717



# グリーン・ツーリズム

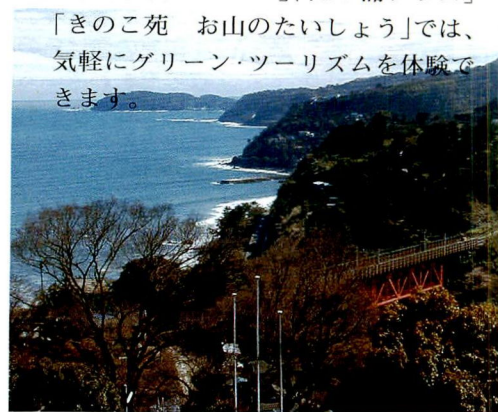


グリーン・ツーリズムとは、緑豊かな農村地域において、その自然、人々との交流を楽しむ滞在型のゆとりある余暇活動です。

国は、これらを推進し農業地域の活性化を目指していますが、小田原市は長期滞在型にこだわらず、首都圏80kmにあるという立地条件をいかして、日帰りや短期滞在型のグリーン・ツーリズムを展開していきます。

片浦地区では、海や果樹などの地域資源の魅力を最大限活用し、農村の自然や社会を破壊せずに、地域住民と都市住民が交流することによって、地域の振興を図っています。

「星ヶ山コテージ」「江の浦テラス」「きのこ苑 お山のたいしょう」では、気軽にグリーン・ツーリズムを体験できます。



## 客をうならす名シェフは、きょうだい

内田 光一さん・菜穂子さん



自然の中の本格的ログハウスで、だれもが大満足するおいしい料理が出ると評判の星ヶ山コテージ。実はここで、代表である父・昭光さんのもと、妹の菜穂子さんと兄の光一さんがシェフとして、自慢の料理を振る舞っていました。

「父の紹介で、東京代官山にお店を出す有名ケーキ職人に5年間修行しました。でも、やっぱり帰ってきちゃいました。私のふるさとの片浦に」とデザート担当の菜穂子さん。

「料理は素材と工夫ともてなしの心が勝負です。片浦ブランドとしての料理に取り組んでいきたいと思います。ナンバーワンでなくオンリーワンの料理を作りたいです」と光一さん。

「都会からのお客様が、私たちの料理で心から喜び、そしてくつろいでいただければうれしいですね」と口を揃えて抱負を語るその笑顔がすてきでした。



DATA  
星ヶ山コテージ 宿泊(露天風呂あり)、  
食事(和食)  
カフェテラス ランチケーキセット  
根府川592 ☎28-1122

## 自然の良さを満喫してください

川島 光太郎さん・紀子さん

「この土地に合ったものをやりたかった。そして、自然と寄り添う楽しさを多くの人に味わってもらいたかった」と光太郎さん。

ここお山のたいしょうでは、しいたけ狩り、バーベキューはもちろんのこと、しいたけの植菌、みかん狩り、たけとんぼ、こんにゃく作り、バードウォッチング、カブト虫取り、もちつきなど季節を体験できる施設が整っています。

「1万5千本のコナラの原木にできるしいたけを、自分でもい、我が家の秘伝のたれで食べてみてください。香りと歯ごたえが違います。体験した人たちの目の輝きも違ってきます」と紀子さん。

「逆に都会の人が感動する姿を見て、自分が思っている以上にこの土地の魅力を教わることもあります。自然栽培のしいたけ、みかん、こんにゃくを素材とする“里の豊かさを生かす起業家”に選ばれた妻のオリジナルメニューを是非味わってください」と光太郎さんは胸をはりました。



DATA  
きのこ苑 お山のたいしょう 食事、竹の子・みかん・椎茸狩り ほか  
根府川657 ☎29-1393

## 四季が彩るおばあちゃんの味

高橋 文子さん・久乃さん

「常連のお客様は予約のときに『今、何がとれますか』と聞いてきます。うれしいですね」と久乃さん。

ここ江の浦テラスでは、地の魚と庭で栽培している野菜や果物が食卓に並びます。すべて文子さん・久乃さんの手作りで、旬を感じる献立を考えているといいます。

「田舎の家庭料理、いわゆるおばあちゃんの味です。金目鯛の姿煮、新鮮サラダ、たけのこの刺身、自家製パンなどなど、すべてが手作り。特に、パンがメニューの中で一番人気になっています。」と笑う文子さん。

「ここでは毎朝、窓を開けると日の出がまぶしいほどに水平線上に輝き、みかんの香りで心が目覚めます。今の生活が一番」と今、掘ってきたばかりの大根ときゅうりを片手に、楽しそうでした。



DATA  
江の浦テラス 宿泊(農業体験可)、食事  
江の浦206-13 ☎29-0456



## 考える漁業で、まだまだいける！

高橋 征人さん(市漁業協同組合・江之浦)

「父が漁師で、母が海女。私が小学生のころは、朝起きると土間にはイカが満杯の木箱が積んでありました」と漁業一筋、現在は組合長で小田原の漁業をまとめている高橋さんは語りだしました。

「そのころの江之浦では、三重県から海女さんがやってきてテングサを取っていました。父と母もそれで知り合ったんですよ。テングサも時代とともに、サザエやアワビに切り替わっていきました。今では、定置網や遊漁船をはじめ、全国的にも有名な刺し網漁によるイセエビや西湘地区唯一の養殖ワカメなど、江之浦では特色ある漁業を営んでいます」と高橋さん。

「漁業も、時代とともに、変わっていく必要があります。そこには、直販を基本とした消費者にとっての魅力ある販売方法の強化や資源保護をしながら漁をする方策などが中心になってきます。小田原の海は魚の種類も多く、さまざまな点で恵まれているので、アイデア次第で可能性が広がります」と海を知り尽くしている高橋さんの視線は未来にありました。



## 片浦は全国ブランドになる

高橋 秀直さん(片浦レモン研究会)

「生産者は時代に答えることが使命です。夢と希望を持ち続けなければ農家はやっていけません。今や小田原の名産に育ちつつある「れもんわいん」も、10年以上前からの念願がかなって、やっと販売することができました」と高橋さん。

片浦では、最近、ゴールデンオレンジをはじめさまざまな新しい柑橘系果物も出荷しています。

「健康・美容に良いという果物には、こだわりがあります。やはり体にいい、安心して食べることができるのが一番だと思います。片浦で海の輝きと太陽をいっぱいを受けて育つ柑橘系の果物を、全国的なブランドにします」と抱負を語ってくれました。



## われら片浦ファン

### 片浦の海にこだわりたい

富田 茂雄さん

「世界の海を渡り歩いて、ホームグラウンドにしたのが根府川の海でした。そして小田原にショップを開きました。毎週末には、ダイビングを楽しんでいます。この海には季節があります。色鮮やかな魚も多く、水もとてもきれいで、光のカーテンがシャワーのように水中を照らしていますよ」と富田さんの陽焼けした顔から白い歯がこぼれました。

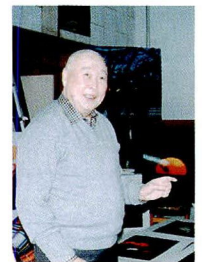
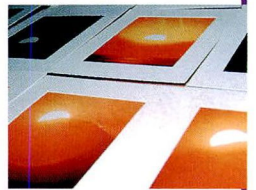


左から北川一夫さん(橘)、田中成頼さん(浜町)・富田茂雄さん(浜町)

### 米神沖の日の出は日本一！

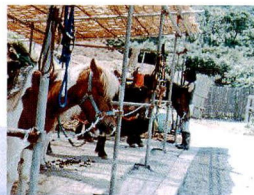
野村 英男さん(東京都)

「熱い視線に私も力が入りました。また足を運びたい」と代表作が米神からの日の出とあって自治会・老人会より招待され米神公民館で講演を終えた野村さん。「日本一の日の出の名所として、これからもPRしていきます」と美空ひばりさんの専属カメラマンを務めた有名なカメラマンは熱く語りました。「ぜひ、私の作品を片浦の地域おこしに使ってください」野村さんは片浦の強力なサポーターです。



### 私の週末は牧場暮らし

樋口 しのぶさん(東京都)



「馬が好き。海が好き。山が好き。そして片浦の人が好き」と樋口さん。週末は、江之浦にある牧場で寝泊まりとなりますが、ボランティアで、13頭の馬の世話や乗馬に来るお客様の接待を楽しんでいます。

東京の食品メーカーに勤めるとあって「土曜日は東京北区の自宅を出て、朝5時に電車にゆられて、牧場入り。日曜日は、深夜12時くらいに家に着きます。平日は、ひたすら週末を楽しみに秘書事務などをがんばっています」。なんとこの生活が1年と数か月も及んでいます。

「この牧場で仕事をしている私が本当の私なんです。落ち着くし、馬・海・山・人のすべてが私の近くにあるんです」と。「私が調教した馬に乗って、ゆっくりとみかん道路の乗馬コースを楽しんでください。初心者でも大丈夫。私がお供しますから」とにっこりしました。

DATA  
SADDLE BACK牧場 初心者体験乗馬、食事 江之浦415 ☎29-0830





遺影の前で背番号7を囲み又衛さんを偲びました



## 甲子園で舞った 大漁旗

昭和46年8月、夏の甲子園は神奈川県代表の桐蔭学園が初出場・初優勝という偉業を達成し、日本中が熱狂しました。もちろん小田原でも、左翼5番で大活躍した地元江之浦の三谷又衛さんのプレーに酔いしれ、甲子園のスタンドでは色鮮やかな大漁旗が舞いました。その後、又衛さんは、腕のいい漁師となりましたが、平成11年6月に残念ながら急逝されました。

「あのときは、片浦じゅうの漁師・農家が夜行でバス何台も連ねて甲子園に駆けつけ『また勝った、また勝った』と大喜び。私もスタンドで夢中に旗を振っていました。優勝したときは全身に鳥肌が立っていました」と、江之浦自治会長の森本俊行さんは、30年前のことを興奮ぎみに語りました。

「特に準決勝岡山東商戦の8回の2死満塁で、あいつが打った左翼越えの逆転の大3塁打はすごかった(右手上写真)。俺は県予選で活躍したけど、あいつはいつもいいところでヒーローになった」と、当時、右翼手が出場の室伏正文さん(湯河原)は、なつかしそうに又衛さんの背番号7を手に取りました。

「あいつは努力家で、いつもこつそりと素振りをやっていた。もう少し足が速ければプロ野球でも成功したんじゃないかな」と大学同僚の高橋雅人さん。

「今でも地元の方から『又衛は野球で鍛えただけあって、いきのいい漁師だった。人望も厚く地域にとって惜しい人を亡くした』といってもらうことがとてもうれしいです」と妻のひろみさん。

息子の洋一さんも「片浦中学校の歴史コーナーには、当時の父の新聞記事が飾ってあります」と父の偉大さをかみしめている様子。

その後、甲子園では屋号の宣伝になるからと大漁旗を振ることが禁止されました。二度とスタンドで、大漁旗の勇姿を見ることができなくなりましたが、皆の心には今でも悠々とながびていることでしょう。

## 片浦 歴史フラッシュ

History of KATAURA

column

### 歴史の表舞台

#### 石橋山古戦場と佐奈田霊社

1180年(治承4年)伊豆で兵を挙げた源頼朝は、石橋山へ進撃し、約3千人の平家の大軍に迎撃されてしまいます。これに対し、頼朝の兵はわずか300人でした。佐奈田霊社は、この戦いで壮絶な討ち死を遂げた佐奈田与一を祭っています。なお、ここはのど・せき・気管支炎などの霊験ありと信仰されています。



### 大漁旗が乱舞

#### 米神のブリ漁

海岸線の海が急に深くなり、陸岸に沿って回遊する魚群が海岸近くまで接近するため、定置網には絶好の場所です。昭和25~31年の最盛期には、米神漁場だけで、実に67万本のぶりが水揚げされています。そのころは、片浦地域全体からみかん農家も援軍として網締めめに駆けつけるなど活気に満ちあふれていました。



### 方言飛び交う

#### 片浦のみかん畑

大正から相州みかんは売上を伸ばし続け、片浦も潤いました。この地域も援農者で賑わい、東北弁が飛び交うほどでした。しかし、昭和40年ころを境にみかんは生産過剰ぎみになり、ついに昭和50年代からは減反政策が出されました。しかし、近年は不知火などの他品種栽培を手がけ、1年を通じておいしいみかんが楽しめます。

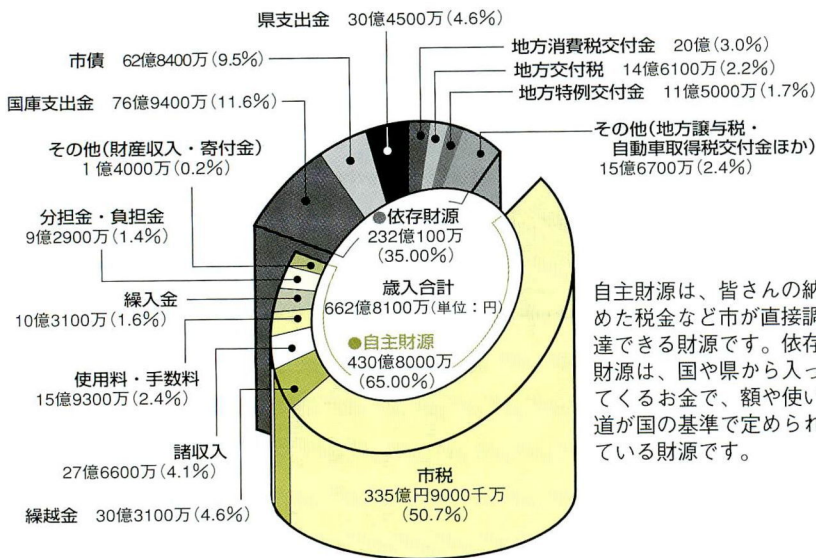




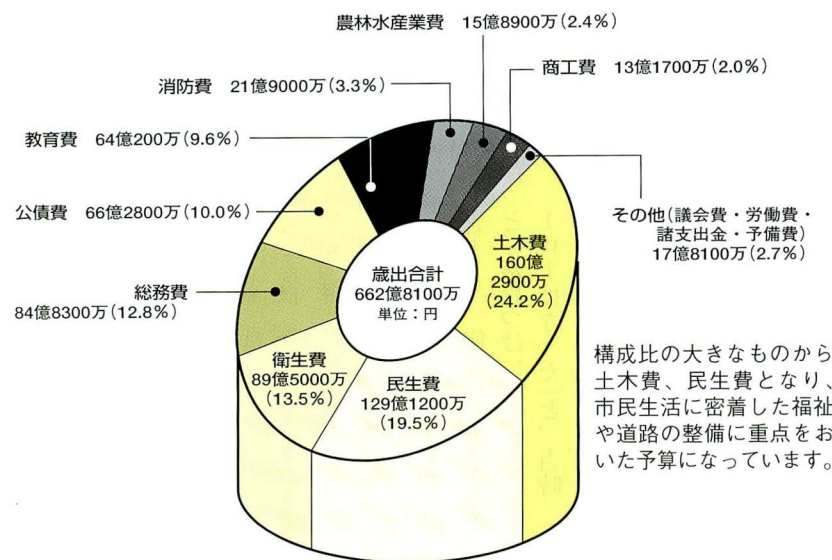
# 小田原市の 財政状況

毎年6月と12月に公表している小田原市の財政状況。今回は、平成12年度の最終予算の状況です。

問 財政課 ☎ 33-1311



自主財源は、皆さんの納めた税金などが直接調達できる財源です。依存財源は、国や県から入ってくるお金で、額や使い道が国の基準で定められている財源です。



構成比の大きなものから土木費、民生費となり、市民生活に密着した福祉や道路の整備に重点をおいた予算になっています。

## 平成12年度の一般会計最終予算

一般会計では、12月・3月に補正を行った結果、予算は最終的に662億8100万円となり、当初予算に比べて、89億8100万円の増になりました。

平成12年度の主な事業は、次のとおりです。

### 主要事業

- 政策総合研究所の設置
- 市制60周年記念式典の開催
- 介護保険制度の導入
- 小児医療費助成事業の対象者の拡大
- 小児深夜救急医療事業の実施
- 住宅用太陽光発電施設整備補助
- 清掃工場排ガス高度処理施設の整備
- 中心市街地活性化対策事業の推進
- 木製品フェア2000の開催
- 広域交流拠点整備事業の推進
- 全国童謡フェスティバルの開催
- 教育シンポジウムの開催
- 少年少女オーシャンクルーズの開催
- 老櫛荘建物等保存整備事業
- 城下町おだわらツーデーマーチの開催
- 特例市指定に伴う記念式典等の実施
- IT講習会の開催及び情報機器の整備

平成12年度の決算状況は、広報おだわら来年1月号でお知らせします。

## 市民一人にいくら使われているか計算してみると...

○道路・公園・河川の整備のために(土木費)	80,654円
○福祉充実のために(民生費)	64,970円
○健康対策と清潔なまちづくりのために(衛生費)	45,034円
○災害対策・住民登録・市庁舎の維持管理などのために(総務費)	42,684円
○借入金の返済のために(公債費)	33,350円
○学校教育・社会教育施設の整備・文化財保護のために(教育費)	32,213円
○火災・災害から守るために(消防費)	11,020円
○農業・水産業の振興のために(農林水産業費)	7,995円
○商工業・観光の振興のために(商工費)	6,627円
○その他議会の運営、労働者の福祉向上、いざというときなどのために(議会費・労働費・諸支出金・予備費)	8,962円
○市民一人に使われる額	333,509円

市民一人あたりの、納めていただいた市税の額 161,485円  
(平成13年3月31日現在の住民基本台帳による人口198,738人で計算)

## 市長随想

### 木の城下町

文 小澤良明

小田原は「木の城下町」である。市内早川に「木地挽」なる地名があり、芹碗を社宝とし古くから「木の宮さん」と呼ばれる紀伊神社がある。木地師の始祖と言われる惟喬親王が祭られ、平安中期、千百年ほど前、京都のろくろ師集団が小田原に土着し、関東木地挽きが発生したことを、哀切極まりない親王伝説と共に神社は伝えていく。今も繁栄する小田原木製品、箱根物産業界の守り神様である。

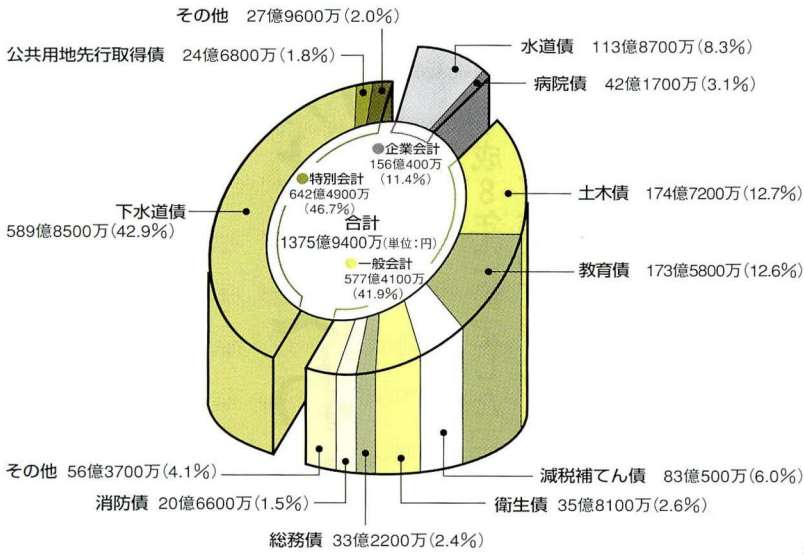
去る五月、国の特別指定伝統的工芸品の全国漆器産地二十二自治体が和歌山県海南市に集い、「第十三回ジャパン(漆)サミット」が開催された。余り知られていないが、漆器のことを英語でジャパンという。数年前石川県輪島市の時に参加して以来、代理で済ませご無沙汰していたのだが、今回の和歌山サミットだけは木(紀)の神様と本市とのゆかりからもどうしても参加したかった。惟喬親王の母君が古代氏族の名門紀伊国(木の国)現和歌山県の国造、紀氏の出であったことや、漆器工芸品の産地が、太平洋岸では海南市と本市、鎌倉市のみで、間に他産地が全くないことに、黒潮が結ぶロマン、絆のようなものを強く感じていたからである。小田原木製品の源流を訪ね、多彩な顔を持つ我がまちを、「木の城下町」でもある、とする私の想いを再確認する意味もあつての今回のサミット参加で



## 長期借入金の状況 (平成13年3月31日現在)

小田原市が長期に借り入れている借金の内訳です。長期借入金総額は、1375億9400万円、市民一人当たりで計算すると、692,339円になります。

この借入金の返済に充てられているのは、歳出の中の公債費で、平成12年度予算では66億2800万円が充てられています。



## 平成12年度の特別会計最終予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理するための会計です。小田原市では、競輪や下水道、国民健康保険などの事業を、この特別会計で処理しています。

	予算現額
●競輪事業	224億7100万円
●老人保健医療事業	147億2200万円
●国民健康保険事業	134億9500万円
●下水道事業	118億700万円
●介護保険事業	50億5900万円
●成田・桑原土地区画整理事業	6億7600万円
●片浦地区簡易水道事業	2億4500万円
●公設地方卸売市場事業	2億300万円
●天守閣事業	1億8500万円
●公共用地先行取得事業	8900万円
●交通災害共済事業	5600万円
●国民健康保険診療施設事業	3500万円

## 平成12年度の企業会計最終予算

企業会計は、公営で行う企業活動で、経済性を発揮して運営され、独立採算の会計です。小田原市では、水道と病院をこの企業会計で処理しています。

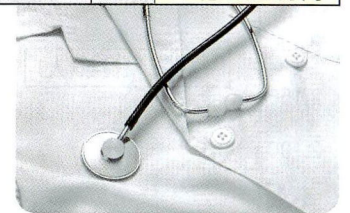


### 水道事業会計最終予算

	予算現額
<b>収益的収支</b>	
収入	37億6900万円
水をつくり、送り届ける予算	支出 35億100万円
<b>資本的収支</b>	
収入	3億2700万円
水を送り届ける施設を造るための予算	支出 13億7500万円

### 病院事業会計最終予算

	予算現額
<b>収益的収支</b>	
収入	92億9800万円
病院を運営するための予算	支出 92億9700万円
<b>資本的収支</b>	
収入	300万円
施設などの整備にかかる予算	支出 5億0000万円



### 詳しい内容を知りたい方は

行政情報センター(市役所4階)と図書館に、予算書や決算書などを閲覧できるように用意してあります。ファックスによる情報提供も行っていますので、あわせてご利用ください。

### ファクシミリサービス

おだわら・くらしのテレフォンガイド  
FAX 33-1266(サービスコード825)

一方、並行して市庁舎前を雑木林に変え、新設道路にはできるだけ緑濃い街路樹を植栽、河川の蓋がけは余りやらない、等々から始まって、「癒し」の空間の創造にも細かな視点からも意を用いてきた。「環境の世紀」に「癒し」の素材、空間、景観をまちの魅力にどう直結するか、方策はまだいくらでもある筈である。大切なことは、市民の皆さんが「木の城下町」の一員ということを日々の生活でどう意識していただけるかであろう。

「木彫りアート展」と次々に拡がり、昨年の「全国木のクラフトコンペ」の大成と花開いてきた。民間、行政連繫しながら地味だが着実な成果をあげてきたのである。

「木彫りアート展」開設、子供たちの発想力を競う「モクチャー展」、様々な切り口から木をめぐる地域文化や産業の活性化策を探っていたのだ。その果実は「木の文化工房」の設置から「木のおだわら市民フォーラム」、「木の아트リエ・モック」開設、子供たちの発想力を競う「モクチャー展」、

## 第13回ジャパン(漆)サミット





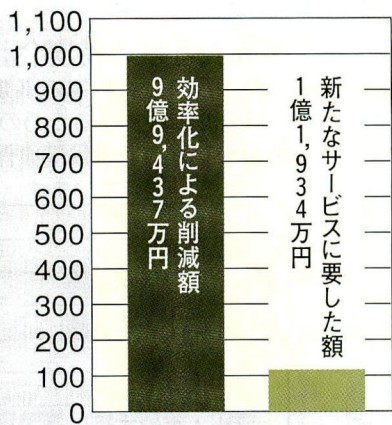
# 市役所は変わり続けます



平成8年に策定した「行政改革大綱」に沿って進めてきた小田原市の行政改革。平成12年度の実績は次のとおりです。

企画政策課 331304

## ■平成12年度 効果額：



## ■平成12年度実績の主な内容

### 効率的な行政運営と行政能力の向上

- ・公共工事のコスト縮減 (2億8,400万円削減) (注1)
- ・給与等の見直し (4,674万円削減)
- ・人事交流と人材派遣の充実
- ・職員研修の充実
- ・LANの全庁的な整備
- ・公用車の集中管理 (349万円削減)
- ・競輪事業に係る事務事業の経費節減 (1億1,419万円削減)

### 市民参加と民間活力の活用

- ・政策総合研究所市民研究員の公募
- ・行政改革市民会議の設置
- ・おだわら市民活動サポートセンターの開設
- ・災害消防支援隊の設立
- ・「全国童謡フェスティバル」の開催

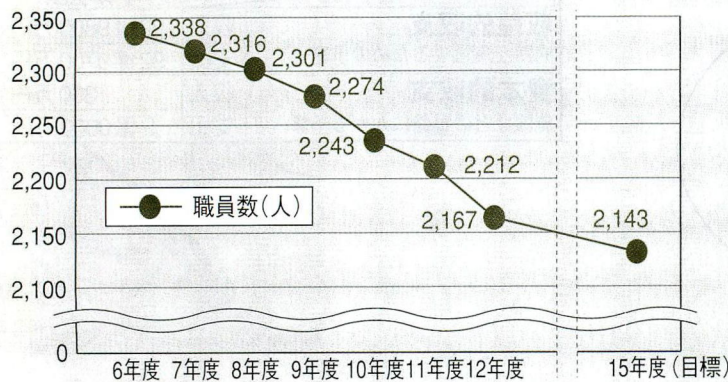
### 行政サービスの向上

- ・窓口サービス時間の延長 (注2)
- ・徘徊痴呆性高齢者SOSネットワークシステム事業の開始
- ・「iモード」を利用した観光情報の提供
- ・小児深夜救急医療事業の実施 (注3)

(注1)平成9年度に策定した「公共工事コスト削減対策に関する行動計画」に基づき、調査・設計・発注・施工の各段階における事業システムを総点検し、品質を確保しながらコストの削減を図りました。  
 (注2)平成12年11月から、本庁舎の税、戸籍、福祉関係の窓口において、毎週火曜日午後7時までの窓口サービスの延長を実施しました。  
 (注3)市立病院において、年間を通じ、毎深夜、小児科の深夜救急医療を実施しました。

## ■職員数の削減

市では、平成10年度から5年間で職員を100人以上削減する数値目標を設定しました。平成12年度は前年度に比べ45人の減員(2億8400万円削減)となりました。行政に対するニーズの多様化、複雑化などから、今後も事務量の増加が見込まれますが、引き続き事務事業の見直しや臨時職員の効率的な活用などで対応します。



私たちがチェックしています！

行政改革推進委員会では、市の行政改革に対しさまざまな角度から提言するとともに、進行政管理を行っています。



加藤良三委員長(前列左)をはじめとする行政改革推進委員会委員のみなさん

## 新たな一歩をふみだす行政改革

平成8年に策定した「行政改革大綱」の推進期間は、平成8年度から12年度までの5年間で終了しました。

現在は、これまでの成果などをふまえ、平成14年度からスタートする新しい行政改革の方針策定に向けて準備を進めており、すでに、「行政改革市民会議」(注)から、「行政改革推進委員会」に対して、市政に対するさまざまな角度からの提言が報告されています。

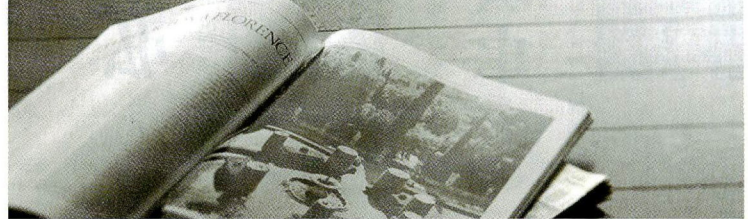
この提言を受けて、行政改革推進委員会から、市へ答申がなされ、これを受けて市として新しい行政改革の方針を策定していきます。

なお、今後の取り組みの詳細については、広報などでお知らせしていきます。

(注)行政改革市民会議：新しい行政改革の方針策定のため、昨年7月からスタートした、公募による市民、経営者、学識経験者等からなる組織。市民や経営者、専門家からの視点で調査研究を行い、その結果を市長及び行政改革推進委員会に報告していただきました。



# 政策総合研究所 研究スタッフ 募集



地方分権の時代にふさわしい、個性豊かなまちづくりを進めるために設立された政策総合研究所は、次のとおり平成13年度の研究スタッフを募集します。

☎政策総合研究所(企画政策課内) ☎33-1315

## ●募集人員

### 【市民研究員・3人】

新たに公募する市民研究員の方々には主に、下記平成13年度の研究事業のうち、①小田原遺産調査を担当していただきます。対象は、市内に在住、在勤または在学の18歳以上の方(高校生を除く)です。

●任期 8月上旬から平成14年3月まで

●活動日程 2週間に1回程度の会合を基本として随時(夜間になることもあります)。

●応募方法 応募を希望する方には詳細を記した応募要領と応募用紙をお配りしますので、研究所にご連絡ください。応募要領にしたがって、2,000字程度の小論文を提出していただきます。応募要領は、研究所ホームページからも入手できます。

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/prio/>

●応募締切 7月19日(木)必着

●選考 応募用紙の記載内容による一次審査(書類選考)と面接による二次審査

## 平成13年度の研究事業(予定)

### ①小田原遺産調査

小田原の歴史、産業、生活文化などの資産をさまざまな視点から発掘し、将来の政策形成に役立てるため、市内を調査し、情報を体系的に整理します。

### ②まちづくり情報交流

インターネットを舞台にまちづくり情報の収集、蓄積、提供の仕組みを整えます。

### ③市民ラボ

平成12年度の市民研究員のグループを中心に自らテーマを設定し、主体的に調査研究を行います。また、多くの市民の皆さんとともにまちづくりを考える場として、研究ワークショップを企画・運営します。



# 新たな体制で 取り組みます

税の滞納  
許さない



☎収納課 ☎331345

小田原市は、昨年7月に全国で初めて「市税滞納特別措置条例」を施行しました。この条例では、滞納者への市民サービスを制限したり、悪質な滞納者の氏名の公表などを盛り込んでいますが、目的は滞納者の納税を促すものです。

条例施行後1年が経過しましたが、昨今の厳しい経済状況の中、税収の確保が非常に困難な状況です。平成11年度の徴収率は92.3%でした。12年度年度当初の滞納額(平成11年度までの滞納分含む)は、26億7100万円(対前年度比27%増)で、残念ながら増加傾向にあります。

収納課では、昨春秋よりプロジェクトチームを設置し研究を進め、滞納整理を行うための体制を見直すとともに実態調査などを徹底し滞納処分を積極的に行うこととしました。また、県税事務所との職員交流による情報交換、国税OBの徴収指導員との連携を図るとともに、秋には滞納整理支援システムを導入し、さらに効率的な滞納整理に努めます。

## 納税相談、 延長窓口のご利用を

納税は、市民の義務です。納付は口座振替が便利です。しかしながら、諸事情により納められない方がいるのも事実です。そんなときには、ぜひとも納税相談にお越しください。徴税吏員とともに現状の生活に合わせた納税計画を立てましょう。

毎週火曜日は、**19時まで**窓口を延長(市役所本庁のみ)していますので、ご利用ください。



ガンバレ小田原

# 「我ら小田原応援団！」

## 小田原評定衆からのメッセージ Vol.2

全国各地で小田原の情報や魅力を発信していただいている「小田原評定衆」の、小田原に対する思いや活動の様子を紹介します。

市民交流課 ☎331706

### 住み心地は日本有数では 溝口久 さん

静岡県在住、静岡県中遠行政センター・磐田市勤務  
前由布院温泉観光協会・旅館組合事務局長



### 懐の広い小田原であってほしい 宍倉正弘 さん

東京都在住、全国防犯協会連合会勤務



### 日本海側で小田原をPRしています 三森敏正 さん

新潟県在住、新潟経営大学専任講師



### 生

命の星・地球博物館の「風と土のサロン」に、ゲストスピーカーとして参加したことから小田原評定衆になりました。「小田原は、生活密着型の地域産業的なものを見ることのできるのが魅力だと思っています。それに、豊かな海、山を背景に歴史的な趣を持ち、都市としての利便性も高く、人情味も感じ、まさに日本有数の住み心地の良さを誇る地域ではないでしょうか。友人を案内したくなる街です」。

### 私

は小田原生まれで、小田原育ち。現在も家族が小田原に住んでいることもあり、週末は小田原ライフを楽しんでいます」と宍倉さん。「小田原の人はまちを愛する気持ちが常にあり、飲み屋などでもまちや行政についての話がよく飛び出していますね。ただし、自分の意見や主張が強くて、他人の提案に対して検討しているという姿勢があまり感じられない方も多いのが残念です」。小田原に対しての愛情があればこそ、厳しいご意見でした。

### 学

生時代から小田原をよく訪れ、私自身はその魅力を十分に感じているのですが、新潟では小田原のことはそれほど話題にのぼりません。でも学会の懇親会などのときに評定衆特製名刺を渡すと相手は、非常に興味を持ってくれます。裏面にある評定衆の由来などを読んで、ぜひ小田原城に行ってみようという方が多かったですよ」と日本海側で、機会あるごとに小田原のPRをしていただいています。



# 黄色と黒色は危険のシグナル ハチの巣に注意

環境総務課 ☎331475

これからハチの活動が活発になる季節となり、家の軒下や庭の植木などに巣づくりをします。巣を見つけたら早目に駆除をしましょう。駆除については、一部を除いてご自分で処理するか、駆除業者に依頼(有料)してください。

### ハチの駆除 6つの鉄則

- ① 殺虫剤を用意する。
- ② 行動が鈍る夕方からおこなう。
- ③ 長袖・長ズボンでおこなう。
- ④ 事前に足元の障害物を除く。
- ⑤ 種類によって巣への噴霧方法を変える。
- ⑥ 巣を落としたら、幼虫も踏みつぶす。

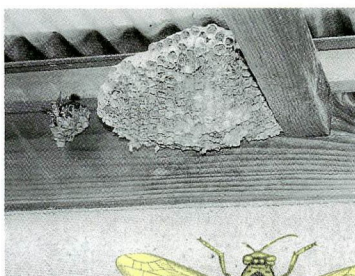
※スズメバチは、非常に危険なハチなので、安易に考えずに、駆除が困難と思われるときは、専門の業者に依頼するほうが無難です。

ハチの駆除の相談は次のところで行ってください。

(社)神奈川県ベストコントロール協会  
☎0120-0614643

また、市では駆除用防護服の貸出を行っております。希望される方は環境総務課にお申し込みください。

【巣から蜂の種類を見分ける】  
アシナガバチ



巣はご飯茶碗を伏せたような形。正面に六角形の部屋が無数にある。蜂が巣にたかっている姿が見える。

スズメバチ



巣は徳利状(初期)、ボール(球形)状。出入り口が1か所で巣の中の蜂は見えない。蜂の体には斑、縞模様がある。





撮影：森下義朗さん

「皆さんと一緒に毎年4月に、コアジサシがよい環境のもとで子育て(営巣)ができるよう、酒匂川の中洲の草取りや清掃を行ってきました。この市の鳥・コアジサシの郷づくりを行ってきたおかげでコアジサシも喜んでいと思います」日本野鳥の会神奈川支部の頼ウメ子さんがうれしそうに説明してくれました。

頼さんによれば、「通常は初めての場所であれば営巣する前には危険回避行動がいくつか見られるはず。あつさりや営巣作業に入ったので、今回営巣しているコアジサシはもしかしたら昨年飛来したものが戻ってきたのではないでしょうかと。」

コアジサシは生まれて約40日で飛べるようになり、9月には遠くオーストラリア方面に旅立ちます。



# 羽ばたけ 未来へ!

市の鳥コアジサシの雛まつり

酒匂川水系保全協議会  
環境保全課 ☎33-1481

酒匂川に市の鳥・コアジサシが130羽ほど飛来しました。

6月2日(土)には、さわやかな日差しの下、コアジサシのヒナを観察する「雛まつり」が報徳橋酒匂サイクリングコース周辺で日本野鳥の会により開かれました。



日本野鳥の会神奈川支部西湘グループコアジサシプロジェクトチームの頼ウメ子さん

参加者が並んで双眼鏡を覗き込む姿につられてと歓声がめずらしいのか、サイクリングや散歩の途中の方も足を止めて飛び入り参加。かわいらしいヒナを見つけるたびに感激の声が上がりました。

## 「そうだ、小田原に住もう」

### 小田原・街なか再生提言

この度、「そうだ、小田原に住もう」をコンセプトとした「小田原・街なか再生提言」が、小田原ゆかりの有識者からなる「小田原市街なか再生懇談会」(座長・小林重敬横浜国立大学教授)から出されました。

問 広域交流拠点整備課 ☎331656

この提言は、人口減少や高齢化など衰退の進む小田原の中心市街地に活力を取り戻すことを目的に、広く市民・商業者・行政などに向けて発信されたものです。

提言では、住むことの価値づく

に、街なかの活力の基礎となる定住人口を回復し、商業活性化や流入人口の拡大につなげようというものです。

サブテーマとしては①新たな活力を生み出す「人材」を輩出する街なか、②地域、そして、コミュニティが支え合う街なか、③また来たいと言わせる「もてなし」のある街なか、の三つを掲げています。

また、具体的に、いくつかの初期プロジェクトも提案されています。

本市では、この提言を踏まえ、市民と協働して街なか再生に取り組んでいきたいと考えています。

パンフレットは、市役所や支所などの主な公共施設に置いてあります。

小田原・街なか再生提言

# 「そうだ、小田原に住もう！」

「これは街なか再生に向けた小田原市民への提言です」

小田原市街なか再生懇談会

ホームページでも公開  
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kouiki/index.html>

りからはじめ、住みたいと感じさせる街なかの実現を図ることとしていきます。さらに、これらを通じて生まれる小田原ライフスタイルに共鳴する人々をターゲット



知っていますか？

# 公文書公開・個人情報保護制度

## 12年度運用状況について

開かれた市役所と個人の情報を守るために二つの制度があります。

### 公文書公開制度とは

市民のみなさんに市が持っている公文書を請求に応じて公開する制度で、より開かれた市役所の実現を図り、市政への参加をいっそう進めていただくためのものです。

### 公文書公開制度の運用状況

平成12年度の公開請求者は16人で請求件数は24件でした。公文書は公開するのが原則です。しかし、個人や法人の情報など公開しないことができる情報が公文書公開条例に定められており、これらが書かれている場合には、その部分だけは黒塗りにして公開することがあります。このことを一部公開といいます。

24件の請求に対する処理状況は、公開が11件、一部公開が12件、非公開が0件、請求の取下げが1件でした。

### 個人情報保護制度とは

市が管理している個人情報に対して自分の情報を確認したり(開示請求)、誤っている場合には訂正を求める(訂正請求)ことができる制度です。自分の情報の取り扱いが、ルールに基づいていない場合は、それを直すよう申し出る(是正の申し出)こともできます。

### 個人情報保護制度の運用状況

平成12年度の開示請求者は15人で、請求件数は19件でした。自分の情報なので開示するのが原則ですが、請求された情報に自分以外の人情報などが記録されている場合は、その部分だけは黒塗りにして開示(一部開示)することがあります。19件の開示請求に対する処理状況は、開示が16件、一部開示が1件、不開示が0件、不存在が2件でした。

また個人情報の訂正請求や取り扱いは是正の申し出はありませんでした。

### 行政情報センターにて

公文書の公開請求と個人情報の開示請求などは、市役所4階赤廊下の行政情報センターで受け付けています。また12年度の公文書公開・個人情報保護制度の運用状況の詳細を、行政情報センターで配布しています。市のホームページでも提供していますので、ご覧ください。

アドレス  
[http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gyosei\\_soumu/index.html](http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gyosei_soumu/index.html)

行政総務課行政情報センター  
(本庁舎4階・赤廊下)  
☎0465-33-1288



### 【平成12年度公文書公開の主な請求内容と処理状況】

整理番号	請求公文書の内容	文書件数	決定内容	所管課	非公開情報
1	土地対策課の出張命令簿	3	公開	土地対策課	
2	市立病院患者給食調理等業務委託契約書等	3	一部公開	病院総務課	落札予定価格など
3	学校給食の自主検査(牛乳)の結果	1	公開	学校保健課	
4	小中学校教科書採択に関する議事録	3	公開	教育総務課等	
5	都市建設常任委員会の「御堀端通り建設予定のマンション用地買収と活用について」の陳情の会議録	1	公開	議会事務局	
6	市立千代小学校A棟耐久補強工事における契約書等	6	一部公開	建築課	個人の氏名など
7	市内小中学校図書購入費詳細、購入図書一覧及び金額	37	公開	学校教育課	

### 【平成12年度個人情報開示の主な請求内容と処理状況】

整理番号	請求公文書の内容	文書件数	決定内容	所管課	非公開情報
1	都市計画道路の用地買収交渉記録	1	一部開示	土地対策課	他の人の氏名など
2	〇〇抗議時の市の対応記録等	0	文書不存在	土地対策課	
3	介護保険認定調査票、主治医意見書等	4	開示	高齢介護課	
4	市立病院のカルテ	1	開示	病院総務課	
5	小田原市職員採用試験成績	1	開示	職員課	

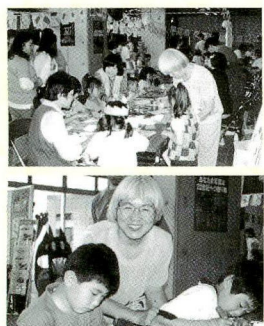
## 小田原 彩時記

親子の笑顔が大集合！

5月27日(日)マロニエで「はつらつエンゼル・愛の環フェスティバル」が開かれました。開会直前には、大粒の雨が降り出し、人出が心配されましたが、会場内は1日中元々な親子連れで盛況でした。

イベントのひとつ、入口階段付近で、多くの子どもたちが夢中で紙飛行機や千代紙人形を作っているテーブルをのぞいてみました。「はつらつエンゼルには、今年初めての参加ですが、何でもでき上がったものが簡単に手に入る今だからこそ、子どもが自分の手で物を作る喜びを味わわせてあげたくて、物が完成したときの子どもたちの笑顔が好きなんです」と指導をする小嶋楨子さん。

小嶋さんは、市の児童文化専門委員として一緒に活動していた仲間10人で「児童文化サークルトランポリン」を発足、そのサークルの会長を務めます。「活動は月一回、みんな子どもたちの興味をひくアイデアを出し合って紙粘土で物を作ったり、牛乳パックで紙すきをしています。実はこれが私たちの技術練習なんです」と、子どもたちと一緒に工作をしながら楽しそうでした。



指導をする小嶋楨子さん



# きらめきの夏

私たち待ちきれません

# はやく来い!!

夏休みに向けて、さまざまなイベントがあります。参加するもよし。見学するもよし。君ならどうする。



## 2 ナイトウォーク～2001年<sup>うちゅう</sup>星空の旅～

申込 青少年課 ☎33-1723



### 募集

夏、満天の星空の下、川原、田んぼのあぜ道、海岸といった変化に富んだコースを歩きながら、新たな友情を見つける。そんな真夏の夜の冒険をしてみませんか？

日時 8月10日(金)18:00 尊徳記念館集合～11日6:00 酒匂川河口(西湘バイパス入口下)解散  
コース 尊徳記念館～下曾我～桜の馬場～国府津海岸～酒匂川河口の20km  
対象 市内在住在学の中・高校生  
参加料 300円  
申込方法 電話で7月2日(月)から先着100人  
※大学生以上のスタッフも募集中です。

## 3 ときめき国際学校

申込 市民交流課 ☎33-1707

オーストラリア・マンリー市の中・高校生との交流事業です。市内の家庭にホームステイしているマンリー市の生徒と、日本文化体験やスポーツをとおして交流を深め、その後友達になったマンリー市生徒の家庭にホームステイをします。今年の参加生徒たちは、今、夏の交流に向けて、事前研修に取り組んでいます。



海外に友だちができました!

大学1年  
田中伸幸さん(荻窪)

「2年前に参加しました。今回はOBとしてお手伝いをします。英語が得意というわけではないけど、向こうに友達が出て今でもつき合いがあります。大学の友達は、この事業のことをとてもうらやまがるんです。自分の住んでいる市にはない本当の国際交流だって」

## 4 オーシャンクルーズ

申込 青少年課 ☎33-1723

今年で、8回目を迎える少年少女オーシャンクルーズが8月22日に出航します。

にっぽん丸が小田原に最接近する22日には、御幸の浜で漁船を使って見送りイベントを行います。



## 1 にんぎょうげきフェスティバル

申込 青少年課 ☎49-8900



楽しい人形劇や大型紙芝居を市内の5団体が一堂に会し、盛大に上演します。子どもから大人まで家族そろって楽しめます。

上演日 8月5日(日)

時間 10:30～12:30(開場10:00)

場所 かもめ図書館(定員180人)

演目 ①人形劇「いたずらぎつね」

②人形劇「なかよし物語」

小田原城内高等学校「児童部」

③大型紙芝居「いたずらお化け」

相洋高等学校「児童研究部」

④人形劇「ヘンゼルとグレーテル」

旭丘高等学校「児童文化部」

⑤人形劇「おしょうさんと小ぼうず」

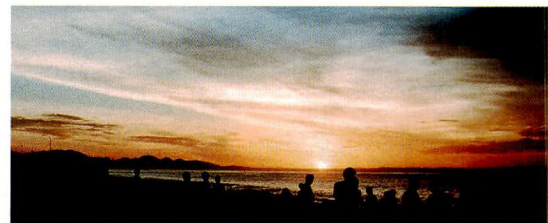
人形劇団「ポッケ」



かわいいおばけを見に来て!

相洋高等学校3年 左から奥野由起子さん、相原由紀子さん

私たち「児童研究部」20人は全員女性。チームワークばつぐんで、週1回の練習を楽しくやっています。今回の目玉は、大きな画用紙にクレヨンで書いたおばけ。思わず「かわいい」って叫んじゃいました。当日、待ってま〜す。



## 間近に見た流れ星に感動!

城内高等学校3年 横山亜矢さん(板橋)



きっかけはチラシを見て。参加してみて眠くて辛いこともあったけど、海岸で流れ星を見たときには感動しました。ゴールしたあとで、来年もまた参加しようって約束したんです。今年も会いたいな。

### 募集

## 第1弾 夏の児童文化行事

定員 各20人・親子参加歓迎 申込 青少年課 ☎49-8900



	日時	会場	対象	注意事項など
船をつくろう!(うかべて走らせよう!)	7/22(日)9:30～12:00	市立図書館	小3～小6	小3児童は親子参加・材料費200円
小さな生き物をしらべよう!(お堀のプランクトン)	7/24(火)9:30～12:00	市立図書館	小3～中2	
夏の夜空をながめてみよう!(美しい輝きをみせてくれる星たち)	7/25(水)19:00～21:00	市立図書館	小1～中2	天候不良中止
どんなもんだい!ワイマーク(みじかなもので「もじ」を書こう!)	7/27(金)9:30～12:00	マロニエ	小1～中2	

申込方法 電話申込。7/3(火)～7/12(木)の午前8時30分から午後5時(7/8(日)・7/9(月)は除く) 多数抽選。複数申込可。

申込締切後、定員に達しない行事は、定員まで受け付けるので、電話でお問い合わせください。





昔 源氏が旗上げた  
山は石橋 江之浦の  
相生松に 望みたて  
心あわせて 誓い合ふ  
〔片浦小校歌より 作詞 福田正夫〕

# 源頼朝 石橋山籠上合戦

～歴史が生まれた瞬間～

歌川 国芳

なつて結実し「武者絵の国芳」と呼ばれるようになりました。

本作品は、片浦にある石橋山を舞台に源頼朝が治承4年(1180年)以仁王の遺命を受けて平家追討の拳兵をしたときの様子を生き生きと描いています。

300騎の軍勢を従えて相模に向かう頼朝の動きを知った平氏側は、伊豆・相模・武蔵の武士3千以上を集めて石橋山を包囲しました。当然、軍勢に劣る源氏軍は完敗。頼朝は湯河原の山中に逃れ、土肥楢山の洞窟(しとどの岩屋)に潜んだのです。

そこへ大庭景親が、俣野景久、梶原景時ら平家の面々と追いかけてきて、あわや頼朝は発見されそうになりました。

景時は、頼朝らが隠れていることに気づきましたが、助けようと決意し「だれもない」と嘘をつきました。(源平盛衰記)

この絵に描かれている景時の洞窟前で仁王立ちして頼朝を守る姿と洞窟内の頼朝らの脅えた表情を非常におもしろく捉えています。

その後、頼朝は真鶴岬より安房(千葉県)に逃れ、再び平家打倒の旗を挙げ天下統一を成し遂げます。

もし、この絵の瞬間がなかったら、歴史が塗り替えられたと考えると、なんとも趣深いものではありませんか。

浮世絵は、のびのびした描線・簡潔な色彩・意表をつく大胆な構図が魅力で、ゴッホなど印象派の画家たちに影響を与えるなど世界的にも愛されて続けてきました。

このコーナーでは、映画・絵画・写真・小説・詩などの作品に登場する小田原を紹介しています。小田原が扱われている作品を「存じでしたら、市販報広聴室までお知らせください。」

浮世絵

歌川国芳は、江戸日本橋本町、染物業柳屋吉右衛門の子として生まれます。歌川豊国門下となり、10代後半の文化後年頃より役者絵を描きますが、注目されず、10年程不遇の時代がありました。ところが、文政末年に描いた「水滸伝豪傑錦絵」シリーズがヒットし、一躍人気絵師となりました。天保期以降は洋風風景画など近代画法の研究や導入に努め、弘化・嘉永にいたっては武者絵は3枚の武者絵と





# 輝く小田原人

郷土の歴史を浮世絵でひもとく

## 岩崎 宗純そうじゅんさん

市史編さん専門委員、郷土文化館協議会委員

岩崎さんは、約40年を郷土の歴史研究と浮世絵の収集に情熱を傾け、今年、600点を超える浮世絵コレクションのなかから小田原ゆかりの作品で、小田原浮世絵集成『浮世絵が語る小田原』を出版しました。

「この本は小田原への応援歌・応援団です」と、先日出版した『浮世絵が語る小田原』を語る岩崎さん。

「学生時代から歴史のことが好きでした。大学でも歴史を専攻し、現在は歴史研究者というのが私のもうひとつの肩書きかな」と。

「小田原市とのつき合いは約20年前に、市立図書館での古文書調査がきっかけです。私が住職の箱根町にある正眼寺は曾

我兄弟がこもって、あだ討ちの成就を願った地藏堂があるなど小田原とは深い縁があります」と。

歴史研究家のほかに浮世絵のコレクターといった顔もあり、今回の出版も小田原を題材にした浮世絵がこれだけあることを知ってほしいと思ったからだと言う。

「ひとつのまちを題材にした浮世絵が本になるほどまとまるのは全国でもめずしいことでしょう。これは小田原の魅力の

あかしです。気がつけば、所蔵する浮世絵は600枚を超えましたと笑う。

そこまで熱心に集める理由を伺うと「浮世絵の美に魅せられてしまったのです。石橋の合戦の絵も迫力があっていいでしょ。片浦の魅力アップに役立てればうれしいですね」と片浦地区にもエールを送ってくださった。



著書「箱根細工物語」「箱根七湯」など多数





### ③ スパウザ小田原

☎29-1000

心と体のリフレッシュは  
いかが。宿泊をはじめバ  
ーデ・スポーツ・エステ・  
健康チェック・食事など  
など充実の施設！

### ④ 関所跡

江戸時代に足柄・箱根に  
設けられた6つの関所の  
ひとつ。今は白糸川底に  
関所の御番所が眠って  
いる。現在はバス停だけ  
があかし。



### ① 石橋山古戦場と佐奈田霊社

☎22-8554

源頼朝が平家討伐の旗揚げをした所。この戦いで、  
壮絶な討ち死にを遂げた佐奈田与一を祭っている。

### ② 米神漁港

潮騒がうれしい。堤防では、潮風が気持ちいい。



### ⑤ 根府川駅

ホームから相模湾を一望できる。休日には、若者  
が集う姿が目立つ。



### ⑦ 天正庵跡

天正18年(1590)豊臣秀吉が小田原戦  
役の際、千利休に命じて茶室を設けた  
ところ。現在、その大野家には秀吉の  
碁盤や碁石・酒器がある。



### ⑥ Farmer's Cafe

☎29-0218

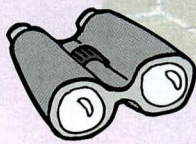
直販、生ジュース・ア  
イス・軽食 ほか



### ⑧ 江之浦海水浴場

☎観光課 ☎23-1373

全長50mでこじんまりと穴場。漁港内にあるため波  
はいたって穏やか。開場 7月1日～8月31日



きらきら輝く波しぶき。深呼吸を誘う緑。片浦は魅力のスポットにあふれている。

# 潮騒と緑で遊ぼう

### ⑨ ベッセルエノウラ

☎29-0027

ダイビング・海水浴・釣りなどにご利用できます。

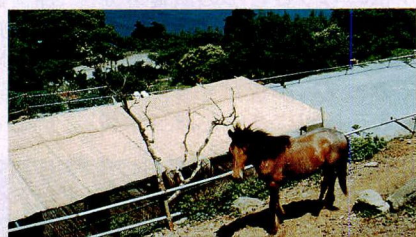


⑩ 相生松の碑  
曾我十郎と大磯の虎御前はこの地で別  
れたと伝えられている。

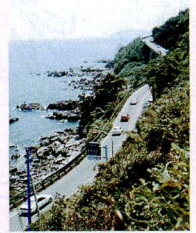
心におみやげ、  
見つけて小田原。

### ⑪ 乗馬牧場(SADDLE BACK)

初心者でも乗馬が楽しめる。馬にまたがり、  
みかん畑越しに見る相模湾の青さに感動！



海岸線  
天気の良い日の眺めは、  
まるで絵はがきのよう。



←米神橋  
わが国最初のP.Sコンクリ  
ートの曲線橋。

